

施策分析シート（令和元年度）

No1

施策名	ごみの適正処理の推進	施策No	07-03	部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課
				課長名	鈴木 内線 472

関連部課名	
-------	--

行政評価	分野	IV	環境先進都市
事業体系	政策	07	地球環境を守るまちの実現

目的
 廃棄物の発生抑制、再利用・資源化を推進するとともに、排出される廃棄物については適正、確実に処理することにより、生活環境の保全、区民の健康で快適な生活の提供に寄与する。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		28年度	29年度	30年度	
①	持続可能性	3.47	3.43	3.40	あなたは、節電やごみの減量など、地球環境に配慮した生活をしていると思いますか？
②					
③					
④					

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		28年度	29年度	30年度	元年度見込み	目標値(8年度)	
①	収集作業班による指導件数(シール貼付)	9,638	9,000	13,465	10,000	7,000	事業者及び家庭に対する排出ルールの適正化等の指導件数
②	不法投案件数	2,355	2,921	2,373	2,300	2,000	対応件数
③	徴収率(ごみ処理券・一般廃棄物処理手数料)(%)	100	100	100	100	100	収集額/調定額(現年度分)
④	環境学習実施回数	20	16	26	27	50	実施小学校・イベント等数
⑤	公務災害発生率(%)	4.8	2.5	1.3	0.0	0.0	公務災害発生件数/職員数

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	29年度	30年度	差額			29年度	30年度	差額	
行政費用	給与関係費	610,428	576,136	▲ 34,292	地方税	0	0	0	
	物件費	1,039,180	1,144,437	105,257	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	2,458	5,782	3,324	都支支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	805,138	781,135	▲ 24,003	使用料及び手数料	177,928	189,494	11,566	
	減価償却費	17,403	20,759	3,356	その他	5,062	10,050	4,988	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	182,990	199,544	16,554	
	賞与・退職給与引当金繰入額	125,978	30,969	▲ 95,009	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 2,417,595	▲ 2,359,674	57,921	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	2,600,585	2,559,218	▲ 41,367	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 2,417,595	▲ 2,359,674	57,921	
	特別費用(g)	108,173	0	▲ 108,173	特別収入(f)	49	50	1	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 108,124	50	108,174	当期収支差額(e)+(h)	▲ 2,525,719	▲ 2,359,624	166,095	

貸借対照表	勘定科目				流動負債	勘定科目			
	29年度	30年度	差額			29年度	30年度	差額	
流動資産	収入未済	31	28	▲ 3	還付未済金	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	30,717	30,754	37	
固定資産	有形固定資産	1,273,347	1,255,231	▲ 18,116	その他の流動負債	0	0	0	
	土地	1,060,011	1,060,011	0	固定負債	619,800	561,802	▲ 57,998	
	建物	622,114	622,114	0	特別区債	0	0	0	
	建物減価償却累計額	▲ 408,778	▲ 426,894	▲ 18,116	退職給与引当金	619,800	561,802	▲ 57,998	
	工作物等	68,605	68,605	0	その他の固定負債	0	0	0	
	工作物等減価償却累計額	▲ 68,605	▲ 68,605	0	負債の部合計	650,517	592,556	▲ 57,961	
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	633,436	670,634	37,198	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	633,436	670,634	37,198	
	その他の固定資産	10,575	7,931	▲ 2,644	負債及び正味財産の部合計	1,283,953	1,263,190	▲ 20,763	
	資産の部合計	1,283,953	1,263,190	▲ 20,763					

財務諸表に関する特徴的事項等

○行政費用のうち、物件費の大部分はごみ(可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ)の収集運搬に係る経費であり、平成30年度から不燃ごみの全量を資源化の対象としたため物件費が大幅な増となっている。補助費等については、清掃一部事務組合や清掃協議会への分担金である。
 ○行政収入のうち、使用料及び手数料は、有料ごみ処理券の売上げが主であり、特に粗大ごみのごみ処理券が平成29年度に比べ増えたため収入が増加した。その他は不燃ごみや粗大ごみの資源化による売払代金であり、平成30年度より不燃ごみの資源化対象を約2割から全量に拡大したため増加している。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○人口増加が続く中、総ごみ量全体については、減少傾向で推移している。平成20年度以降は、可燃ごみ・不燃ごみ・持込ごみは減少傾向にあるが、粗大ごみはやや増加している。</p> <p>○家庭から排出される可燃ごみの組成状況（平成30年度組成調査）は厨芥類ごみ（生ごみ）が33.4%を占めている一方、資源として回収できる紙類も17.8%含まれている。また、不燃ごみでは、資源回収品目となっているびん類が12.6%、缶類が3.9%含まれている。</p> <p>○清掃事業として、ごみの収集運搬をはじめ、再利用の推進・減量化等についての住民への指導、大規模建築物に関する届出受理、住民からの苦情処理等多岐にわたる事務を行っている。</p> <p>○金属系粗大ごみや不燃ごみの全量を資源化の対象とするなど、ごみの減量に積極的に取り組んでいる。</p>
課題	<p>○最終処分場の延命化やリサイクル率の向上という観点から、廃棄物の排出抑制、再利用・資源化の更なる取り組みが不可欠である。</p> <p>○今後、総ごみ量の更なる削減のため、3R（リデュース、リユース、リサイクル）に重点的に取り組む必要がある。</p> <p>○区報等でのごみ・資源の排出方法の周知に加え、ふれあい指導班を中心に分別ルール of 徹底や排出指導を行っているが、指導方法のさらなる充実を図る必要がある。</p> <p>○外国人居住者が増加傾向にあり、これまで使用してきたリーフレットの多言語化を進めつつ、ごみ・資源の排出方法の周知・指導にかかるコミュニケーション手段の積極的活用を図る必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○廃棄物の適正分別や資源化の推進に向けた施策を拡充する。</p> <p>○区民や事業者がごみを可能な限り発生させない生活習慣を定着させるため、ごみの発生抑制について、区報やホームページでの周知に加え、環境学習やイベント等の場で、普及啓発活動を重点的に行う。</p> <p>○ごみの減量や分別を意識した行動を幼少期から取ることができるよう、保育園・幼稚園、小学校等と連携して、意識付けを行っていく。</p> <p>○リーフレットの多言語を一層推進するとともに、外国人居住者への啓発の充実を図る。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
元年度	2年度	
推進	推進	区民の生活環境の保全や、快適な生活の提供のため、更なる廃棄物の適正かつ確実な処理に努める。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		29年度	30年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
清掃協議会分担金	07-02-12	609	794	400	600	継続	継続	事務の調整を引き続き実施する。
清掃調査事業	07-02-13	8,560	8,286	1,243	1,455	推進	推進	ごみの減量及び適性な処理等に関する基礎資料や基礎データとしての役割は大きく、今後も調査研究を推進していく必要がある。
中間処理分担金	07-02-14	803,807	779,610	803,389	779,221	継続	継続	定められた算出方法により支出する。
安全衛生管理	07-02-15	15,093	13,431	5,231	5,138	推進	推進	公務災害や車両事故の発生防止、また、安定的なごみの収集・運搬事業運営のため推進する。
清掃管理事務	07-02-16	15,198	12,775	453	461	継続	継続	廃棄物情報管理システムを今後も有効に活用していく。
事業用大規模建築物廃棄物排出指導	07-02-17	8,801	7,550	6	104	推進	推進	事業系ごみ量削減のためには、事業所への積極的な働きかけが欠かせない。
清掃リサイクル事務所管理運営	07-02-18	42,257	42,791	23,697	23,259	継続	継続	清掃リサイクル業務の円滑な推進を図るため、職員等の安全や環境に配慮した庁舎機能の維持管理を行う必要がある。
収集作業運営	07-02-19	1,476,319	1,489,506	974,820	1,084,141	推進	推進	安全かつ効率的な収集運搬作業を引き続き行うとともに、ごみの分別推進や不法投棄の減少に向け、指導業務、普及啓発業務を更に強化していく。併せて、着実に不燃ごみと粗大ごみの資源化を進めていく。
清掃車車庫管理運営	07-02-20	27,403	28,490	8,682	9,046	継続	継続	収集運搬車両の運転業務の労働環境を整えるため、環境に配慮しつつ、適切な庁舎機能の維持管理を行う必要がある。
運搬管理事務	07-02-21	15,247	17,580	14,476	6,428	継続	継続	ごみの収集・運搬業務を円滑に推進するために、清掃車両を適正に保有することは必要である。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		29年度	30年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
運搬作業運営	07-02-22	18,020	14,952	4,278	3,316	継続	継続	ごみの収集・運搬業務を円滑に推進するために清掃車両の点検・整備等を適正に行い、清掃車両を安全に運用することは必要である。
ごみ処理券事務	07-02-23	25,367	19,903	16,023	11,990	継続	継続	手数料の徴収について引き続き適切に実施する。
動物死体処理	07-02-24	40,480	33,265	966	854	継続	継続	動物死体処理も公衆衛生の確保の上で重要であるため、継続して実施する。
ふれあい指導	07-02-25	102,908	85,902	2,863	2,127	重点的に推進	重点的に推進	循環型社会実現のため、ごみの適正排出は欠かせず、普及啓発指導は重要である。
清掃リサイクル事務所等改修工事	07-02-26	517	4,385	22,010	3,454	継続	継続	施設の長寿命化等を図るため、適切な改修工事を行う。
合計		2,600,586	2,559,220	1,878,537	1,931,594			